



むなかた市議会だより

平成29年6月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報編集委員会
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591
●市ホームページ=http://www.city.munakata.lg.jp/050/080/index.html

平成29年6月定例会のあらまし

■本定例会は、6月2日から22日までの21日間で開催されました。
6月8日、9日、13日、14日の4日間、19人の議員による一般質問が行われました。(2、3、4ページ参照)

■市長提案の議案10件は、本会議ですべて同意承認、可決しました。うち6件は6月15日から19日の間に行われた各常任委員会での審議を経ていきます。(主な議案の内容および議決結果については、1、4ページ参照)

主な議案

賛成多数で可決

財産の取得について



宗像市観光物産館(道の駅むなかた)の駐車場の用地として土地を取得する議案(市長提案)。

主な質疑

Q 事業の手続きを市民参画条例ではなく、土地収用法に基づいて行ったのはなぜか。

A 同一時期にほぼ同じ内容の説明会を二度開催するよりも、効率性などを考え、法律上の手続きである土地収用法に基づく説明会に代えて実施した。

主な意見

(賛成意見)

●市民参画条例ではなく、土地収用法に基づき手続きを行った結果、市民に十分周知されなかった点は指摘したい。市民の税金を投じてつくる施設であるため、来訪者対応だけでなく、市民向けイベントの開催、宗像の観光資源として今後活用していただきたい。

●観光、産業の拠点として道の駅を整備する上では、県道沿いの土地(換地)および商工会の場所も含め、総合的に道の駅の価値を高められるよう全体のレイアウトについても、今後、十分検討していただきたい。

●県道沿いの土地(換地)の活用については、施設の入口部分でもあるため、今後の検討材料にしたい。また、多目的広場、芝生広場の活

(反対意見)

●事業の手続き上の問題で行政のあり方が問われると思う。道の駅の駐車場については、ある程度拡張が必要であると理解できるが、駐車場、多目的広場、芝生広場の広さおよび活用方法が問題。また、世界遺産絡みの計画であるため、数年見ながら見直しを含めて検討するべきである。



道の駅むなかた

副議長就任あいさつ

6月2日の本会議にて、北崎前副議長の辞任に伴う副議長選挙が行われ、石松議員が副議長に選出されました。



石松和敏副議長

議長を補佐し、議会の調整役として公平・公正で民主的な議会運営に努め、市民に開かれた議会を目指します。

また二元代表制を意識した上で、市長とは政策面で良い意味で切磋琢磨できる議会を目指すために、議長・議会運営委員会とともに努力します。

常任委員会名簿

副議長に石松議員が就任したため、社会常任委員会の委員長が代わりまし。総務常任委員会と建設産業委員会に変更はありません。

総務常任委員会			社会常任委員会			建設産業常任委員会		
委員長	吉田 剛		委員長	北崎 正則		委員長	神谷 建一	
副委員長	岡本 陽子		副委員長	井上 正文		副委員長	安部 芳英	
委員	末吉 孝		委員	石松 和敏		委員	植木 隆信	
〃	伊達 正信		〃	新留 久味子		〃	福田 昭彦	
〃	笠井 香奈枝		〃	小島 輝枝		〃	井浦 潤也	
〃	岩岡 良		〃	森田 卓也		〃	上野 崇之	
—	—		〃	小林 栄二		—	—	

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群

世界文化遺産に登録決定

議員研修を行いました

7月3日に龍谷大学政策学部の土山希美枝教授をお招きし、議員研修を行いました。

研修は「質問力を高め、議会力に活かす」と題し、自治体や議会のあり方、一般質問の機能や現状・課題などについて講義を受けた後、議員が自分の考えや疑問を付箋紙に書き出して先生に答えていただく場も設けられました。短い時間ではありましたが、この研修で学んだことを今後の議員活動に生かしていきたいと思います。



議員の意見や疑問について土山教授が答える場面

トピックス

- 議長を除く19人の議員全員が一般質問……………P2、4
- 建設産業常任委員会の行政視察報告……………P4
- 政務活動費を公開……………P4

傍聴時の住所・氏名の記入が不要になりました

これまで議会傍聴の際は、議会事務局で住所・氏名を記入する必要がありましたが、6月議会から記入が不要になりました。

ただし、傍聴章はこれまでどおり必要です。傍聴の際は議会事務局にお声かけください。

暑中お見舞い

申し上げます



公職選挙法では「議員は答礼のための自筆によるものを除き、暑中お見舞いなどの時候のあいさつ状を出すことは禁止」されています。市民のみなさんのご理解をお願いします。

宗像市議会議員一同

平成29年6月定例会

一般質問

一般質問とは、議員が市の行政事務全般について市の見解を問うものです。

平成29年6月8日、9日、13日、14日の4日間にわたって、19人の議員が合計36項目の質問を行いました。

- 議員が質問を行った順に掲載しています。
- 掲載項目などは質問を行った議員がそれぞれの判断で選択しています。
- 一般質問の内容は、宗像市議会ホームページの録画映像もしくは8月下旬に公開予定の議事録をご覧ください。
- この一般質問は、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産に登録される前に行われたものです。



大型商業施設との連携を
とびうおクラブ／安部 芳英

問 大型商業施設内を起業支援（チャレンジショップ）の場として活用できないか。

答 商工会とも協議しながら、大型店と起業者をつないでいきたい。

問 市外からの誘客のため、市内のパン・スイーツ店から大型商業施設内でフェアを開催したいと提案があった場合、市の支援は可能か。

答 具体的な話があれば、前向きに協議調整したい。



生産者移動販売

その他の質問
公共施設の安定的な維持更新のために。



岬地区の活性化に向けてパート2
とびうおクラブ／北崎 正則

問 鐘崎漁港施設用地を生かした利活用の具体的な方法は。

答 荷さばき所の設置も含め、県内外同様の施設の情報収集を行う。漁協関連施設だけではなく、一体的なにぎわいづくりを基本に検討していく。

問 獲る・育てる漁業以外にも、地元の特産を生かしたまちづくりを進めるべきではないか。今後、漁協、地域住民とどう進めていくのか。

答 鐘崎の魅力は新鮮な海産物であり、活魚センターに加え、海産物が食べられる食堂の整備や誘



その他の質問
若手農業者支援としてICT技術の活用を。宗像の教育について。



公共施設での薬剤散布について
ふくおか市民政治ネットワーク／筭井 香奈枝

問 ユリックス芝生広場に薬剤を散布した理由は。

答 雑草が増え、水はけが悪くなりコケですべりやすくなる。安全のため薬剤を散布している。

問 芝生広場に今後とも薬剤散布をするのか。

答 芝生を維持するためには最低限の薬剤散布は必要。環境に負荷がかからないよう行っている。

問 避難所運営マニュアルはあるか。



宗像ユリックス芝生広場

問 避難所運営マニュアルはありますか。



日の里団地東街区活用で再生を
宗像志政クラブ／吉田 剛

問 東街区を日の里東小学校や4号公園の活用や地域要望を含めて展開しモデルとすべき。今後の想定は。

答 URと引き続き協議し、国に要望していく。公園・緑・すばらしい景観・学校があり、可能性が高い場所。周辺と一体的に整備方針を考えたい。また民間企業と協議を行い、モデルとなるようなものを提案していく。

問 団地再生の専門部署をつくるべきでは。

答 来年度、専門部署をつくりたい。



問 緑豊かな日の里団地再生と一体として地域特性を明確にした誘致をすべきでは。

答 環境・歴史・文化といった特性がある。適正な企業を誘致したい。



持続可能な自治体活動について
宗像志政クラブ／伊達 正信

問 陵厳寺区、石丸区の有志の会の共通した課題は、会を引き継ぐ若者の育成である。市の支援は。

答 地域外を含めた人材を集め育成するため、大学との連携、ホームページ、広報、人づくりでまちづくり事業補助金などを活用し支援する。

子育て支援について

問 子どもの急病は、働くひとりに親にとって大変な問題である。病児保育の実施は待ったなしと思うが、市の考えは。

答 市内の全小児科医院に事業実施の意向を確認



問 子どもの急病は、働くひとりに親にとって大変な問題である。病児保育の実施は待ったなしと思うが、市の考えは。

答 市内の全小児科医院に事業実施の意向を確認



障がい者が自立できるための環境整備を
公明党／岡本 陽子

問 本市において障がい者の求人情報の提供はできるが、希望する就労先への登録はハローワーク福岡東でしかできない。本市でも就労希望場所への登録や、障がいに対応できる職員の配置が可能となるよう要望する。

答 既にハローワーク福岡東に職員の派遣要望は行っている。相談スペースの確保なども含めて検討する。

問 障害者等日常生活用具給付等事業の紙おむつ支給対象者の見直しを

問 脳原性運動機能障害（脳性まひ）の紙おむつ



問 障がい者が自立できるための環境整備を

答 市内の全小児科医院に事業実施の意向を確認



子どもの貧困対策を急げ
宗輝会／小島 輝枝

問 国の地域子供の未来応援交付金を活用して実態調査を行いたい。市独自の給付制度構築を検討する。

答 既にハローワーク福岡東に職員の派遣要望は行っている。相談スペースの確保なども含めて検討する。

問 障がい者が自立できるための環境整備を

問 脳原性運動機能障害（脳性まひ）の紙おむつ



問 障がい者が自立できるための環境整備を

答 市内の全小児科医院に事業実施の意向を確認



世界遺産・一括記載を目指して
宗像志政クラブ／森田 卓也

問 一部記載という勧告はまさに青天のへきれきである。その時どう思われたか。

答 沖ノ島と3つの岩礁のみの記載勧告については、大変驚いている。

問 ユネスコ世界遺産委員会へのアプローチなど、一括記載に向けた口ビ活動はどう考えているのか。

問 一括記載を目指した



宗像大社・辺津宮

問 世界遺産・一括記載を目指して

答 市内の全小児科医院に事業実施の意向を確認

※1 学校外パウチャ―制度Ⅱ子育て世代の経済的負担軽減のため、塾や習い事などの支払いに充てる利用券を提供する制度。

農福連携で農地保全と社会参加を 市民自治の会／上野 崇之

問 農業の人手不足は耕作放棄地増大につながっている。放棄地の現状と対策は。

答 放棄地は総面積503畧、利便性や土質など、条件の悪い所に多い。国や県の補助金などを活用して管理を支援するほか、農業委員会と連携して放棄地再生に取り組む。

問 福祉団体などが放棄地再生や農業に取り組む、農福連携の支援策は。

答 放棄地再生には多様な担い手を視野に入れて取り組む。収穫の受託作業やイベントでの作物販売など、福祉団体などから申し出があれば積極的に関係先につなぎたい。



ミズナ収穫の受託作業

南の郷クラブの今後の支援策は 公明党／石松 和敏



問 24年度から5年間の活動・運営について、評価と今後の課題、支援策などについて伺う。

答 着実に教室数と会員数を増やし成長。課題は、助成金が30年度で終了することからこの2力年での自立が必要で、採算が取れるだけの会員確保が重要。今後は、総合型クラブの市のモデルであるため、自立できるまで人的支援を継続していく。

問 スポーツ推進計画に「学校開放施設の拡大(平日の日中開放)」がある。南郷小との連携を深化させることで学校施設の開放



南郷コミセンと南郷小学校との連携が今後とも重要に

教育費の家計負担軽減策について 日本維新の会／岩岡 良



問 義務教育と高等教育の管轄を区別せず、長期的な目線で早い段階からの支援を検討すべきでは。

答 学用品などの費用面から着手し、広い視点で施策の検討見直しを行う。

問 学校外パウチャ―制度(※1)を取り入れるべきでは。

答 まず先に、地域社会との連携した取り組みで学力向上を推進したい。制度の最大目的は地元商工業活性化にあるはず

プレミアム商品券の 現状について

問 市民へ還元すること



宗像ざらり商品券チラシ

ほたるの里前の安全対策を急げ 日本共産党／植木 隆信



問 ほたるの里と河東コミセン間に歩道橋があるが、高齢者などには使いづらい。県土木事務所も問題意識を持っている。県土木事務所と安全対策の早急な協議を求める。

答 歩道橋の老朽化対策や県道69号線の改良を含め、関係各課、県土整備事務所などと、安全対策について協議を進めていきたい。

世界遺産勧告について

問 イコモスがユネスコに、世界遺産登録を沖ノ島と3つの岩礁のみと勧告した。市民の中には「常



城山中学校改築の進捗よく状況は 宗像志政クラブ／神谷 建一



問 老朽化が進む城山中学校の早期建設が急がれるが、改築計画策定と完成の最終年度はいつとするのか。

答 現状では具体的な年次計画の策定には至っていない。アセットマネジメント計画では36年度中の完成とされているため、来年度までの2年間で方向性を決めなければならぬ。

問 釣川沿いの通学道路用の自転車専用道路の延長と、太郎坊橋交差点県道整備の検討を。



安全・安心な住環境を目指して 宗像志政クラブ／井浦 潤也



問 本市としての防犯対策の成果と課題は。

答 コミュニティや消防団と連携し青色防犯パトロールを、また住マイむなかと防犯協働事業を実施。犯罪発生率は同規模の市と比べて少なく認知件数も減少。予防可能な犯罪も多く市民の意識向上を図る必要がある。

問 防犯力メラの普及は。

答 防犯力メラは一定の犯罪防止に効果があると思われる。先進事例や国の動きを調べ、本市に合う形で制度化の検討に着手したい。



田熊山笠

公共交通の考え方について問う 市民連合／福田 昭彦



問 ふれあいバスやコミュニティバスは一定の成果を上げているが、市民のライフスタイルの多様化や高齢化など、市民ニーズや社会情勢の変化に対応していくことが求められている。今後の対応は。

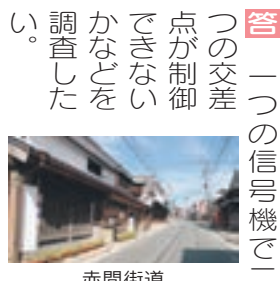
答 持続可能な公共交通体系の構築を目指す市地

赤間街道の街づくりと景観形成を 共産党／新留 久味子



問 赤間街道周辺に14階建ワンルームマンションの建設計画がある。

答 歴史的要素を生かした景観づくりを行う街道宿であり、重要な景観資源として認識している。



赤間街道

世界遺産登録と今後の取り組みは 宗像志政クラブ／小林 栄二



問 世界遺産イコモス勧告と今後の取り組みは。

答 一部構成資産に限るといふ厳しい内容に驚いた。全資産登録を目指す以上、現時点では景観保全策や来訪者受け入れ事業の見直しは考えていない。顕著な普遍的価値を理解してもらえよう丁寧な説明を尽くし、一括登録に全力で取り組む。

持続可能な農業経営、 儲かる農業

問 農業を取り巻く状況が厳しさを増す中、今後の農業施策の取り組みは。

答 農地の集積、新規就農者の育成、農地保全活動支援を重点的にさまざまな事業に取り組んでいる。また市、JA、農業



田園風景

答 家庭の燃やすごみには分別収集できるものが多く含まれるため、今後も継続して啓発していきたい。また、資源物受入施設の利便性向上を図っていく。



西側資源物受入施設

今里橋交差点の 安全対策を

問 死亡事故も起き、自治会は11年間改善提案書を提出。実現可能な信号設置の検討を求める。

答 一つの信号機で二つの交差点が制御できないかなどを調査したい。

